

平成17年4月19日
社会保険委員会連合 手術委員会
委員長 山口俊晴

外科系学会社会保険委員会連合による「手術等の難易度及び時間に係る調査」 の概要と進捗状況について

調査の目的と概要

外保連の公開している手術試案は手術協力者、手術時間、技術度などから構成されており、しかもそのデータは加盟学会のコンセンサスを得た精度の高いものである。しかし時と共に状況が変化し、そのデータの中には現状と乖離していると考えられるものが指摘されるようになった。手術委員会ではこのような認識に立って、外保連の手術試案に関わるデータの精緻化のために、実地調査を施行することを決定した。そして、日本外科学会などの加盟学会の関連施設に、手術試案の信頼度を高めるための調査を下記の通り依頼した。

調査の概要

(調査の目的)

- 外保連試案の精緻化を行うことを目的として、外保連試案における手術の評価の視点のうち、手術術式ごとの職種別人数、手術時間について麻酔記録などに基づく客観的な調査を行う。

(調査対象医療技術)

- 診療報酬点数表上「手術」の部で評価されている医療技術のうち、手術室で行うものを調査対象とする。(局所麻酔による手術も含む。)

(調査対象施設)

- 日本外科学会の指定施設 (1097) および関連施設 (1650)
- 外科学会以外の外保連加盟学会の関連施設 (834)
日本整形外科学会 (590)、日本臨床整形学会 (65) 日本泌尿器科学会 (65)、日本口腔科学会 (26)、日本耳鼻咽喉科学会 (20)、日本胸部外科学会 (15)、日本形成外科学会 (14)、日本大腸肛門病学会 (11) 他

(調査客体・調査方法・調査票)

- 平成16年11月1日から平成17年1月31日の3カ月間に各医療

機関の手術室において実施された手術を調査対象とする。

- 調査対象病院は、診療報酬点数表上の区分（Kコード）に従い、麻酔記録などに基づき指定された様式（調査票・別紙）に従って磁気媒体によりデータを提出する。

（調査項目）

- 参加人数（医師、看護師、技師）
- 手術時間
- 麻酔時間

進捗状況

回答施設数：723 施設（回答率 20%）

（日本外科学会関連 603 施設、その他の学会関連 120 施設）

集積データ数：22 万件（現在データクリーニング中）

